

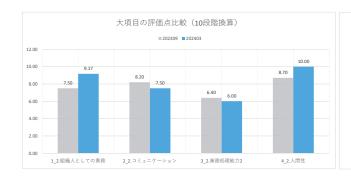
2024年下期 個別評価レポート

山田 太郎 様

1	評価基準
	4:できている
	3:どちらかというとできている
	2:どちらかというとできていない
	1:できていない

大項目	小項目	評価内容	評価点	10点満点換算	ABC評価
	1_1.コンプラ	コンプライアンスを遵守している	4		
1.組織人としての責務	1_2.勤怠	勤怠ルールを遵守している	3	8.33 点	В
	1_3.ルール遵守	業務ルール及びセキュリティ規則を理解して遵守している	3	3	
	2_1.エスカレーション	問題が発生した際、適切な段階を踏んでエスカレーションしている	1		
	2_2.協調性	チームメンバーとコミュニケーションを取り、業務を遂行している	2	2 2 5.50 点 3 3	
2.コミュニケーション	2_3.情報共有	業務に必要な情報やノウハウをチームメンバーと共有している	2		С
	2_4.主体性	業務に対して、自発的に取り組んでいる	3		
	2_5.指示を聞けるか、理解できるか	指示やフィードバックを素直に受け入れ、意図を理解できている	3		
	3_1.業務遂行に必要なスキルを有しているか	業務に関連する専門知識や技術スキルを活用している	2	2	
	3_2.役割を把握しているか	自身のタスクとその影響範囲を理解している	2	2	
3.業務処理能力	3_3.効率化	業務改善を行い、効率よく業務を遂行している	2	5.00 点	С
	3_4.問題解決能力	問題に対して、適切なアプローチを選択し、解決している	3	3	
	3_5.スケジューリング能力	適切な業務スケジュールを設定し、納期を厳守している	1	ı	
4.人間性	4_1.責任感	業務に対して、最後まで遂行している	3	6.25 点	В
4.八同庄	4_2.積極性	業務に対して、積極的に取り組んでいる	2	2 0.25 点	В

評価したい良い点	案件対応はしっかり対応いただき、安心して任せられる。
改善すべき点	特にありません。
今後に期待していること	ポテンシャルが高いため今後、経験値を積んで中心メンバーになってもらえることを期待します。





各評価からの改善ポイント

	1_1.コンプラ	継続しましょう。
1.組織人としての責務	1_2.勤怠	5分前に行動を開始するなど、タスクの予定よりも早く始めることで、スムーズな業務開始をサポートしましょう。
	1_3.ルール遵守	セキュリティ規則や業務ルールのトレーニングを通じて、具体的な事例を学び、ルールの意図を理解しましょう。
	2_1.エスカレーション	問題発生時のエスカレーションプロセスを確認し、問題の深刻度に応じて段階的に関係者を巻き込んで対応するトレーニングを行いま しょう。
	2_2.協調性	コミュニケーションスキルの向上のために、フィードパックを積極的に求め、他のメンバーとのコミュニケーショントレーニングを 行いましょう。
2.コミュニケーション	2_3.情報共有	情報共有の手順を整備し、必要な情報を適切な形式で共有するトレーニングを行いましょう。
	2_4.主体性	新しいプロジェクトや課題に自ら進んで参加し、自身のアイデアや提案を積極的に出すことで、業務に対する積極性を一層高めましょう。
	2_5.指示を聞けるか、理解できるか	フィードパックを受けたら、具体的な行動計画を策定し、継続的な成長のための努力を怠らないようにしましょう。
	3_1.業務遂行に必要なスキルを有しているか	専門知識や技術スキルの向上のために、関連するトレーニングプログラムやセミナーに参加し、実践的な経験を積む努力を行いましょ う。
	3_2.役割を把握しているか	業務の影響範囲を明確に把握するために、他の部門やプロジェクトとのコミュニケーションを強化し、業務の全体像を把握する努力を 行いましょう。
3.業務処理能力	3_3.効率化	業務改善のために、現行のプロセスを詳細に分析し、ボトルネックや無駄を除去する取り組みを行いましょう。
	3_4.問題解決能力	過去の問題解決の経験を振り返り、他のチームメンバーと共有するなどして、より効果的なアプローチを見つけましょう。
	3_5.スケジューリング能力	納期を守るために、タスクの進捗を定期的にモニタリングし、適切なアジャストメントを行うプロセスを確立しましょう。
4.人間性	4_1.責任感	タスク完了までの進捗を可視化し、途中でのタスクの放置を防ぐための工夫をしましょう。
7-7/HIJE	4_2.積極性	積極性を高めるために、新しいアイデアに対してオープンな態度を持ち、積極的に関与するトレーニングを行いましょう。